

地域連携だより

病院の理念

4つの心

人権尊重の心
向上心

人間愛の心
奉仕の心

病院の基本方針

- 常に医療水準のアップに努め、安全・安心・信頼を要とした医療を提供する。
- 地域の医療福祉機関との連携を密にし、地域における中核病院としての使命・役割を分担する。
- 人権の尊重と人間愛を基本とした医療を行うと共に、社会保険病院としての使命に基づき、地域住民の健康・福祉に寄与する。
- 患者様・受診者様のニーズに応えた病院サービスを提供する。

病院キャッチフレーズ 『笑顔で言葉をもって患者さんの身になって』

目次

診療科紹介 小児科	
食物アレルギーに対する食物経口負荷試験	
小児科医長 水野隆久	2
耳鼻咽喉科診療体制変更のお知らせ	
耳鼻咽喉科医長 内山通宏	3
感染対策室のご紹介	
感染対策室長 安野朝子	4
新MRI装置の導入に伴う工事期間のMRIの対応	
放射線統括技師長 岸 俊夫	5
第11回地域医療連携登録医	
懇親会のご報告	5
当院における手術症例数	6
手術に関する設備基準について	6

健康管理センターの理念

1. 生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見
2. 健康保持増進のための適切な指導
3. 受診者の安心・信頼・満足
4. 人権尊重とプライバシーの保護

健康管理センターの基本方針

1. 生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見を目指す。
2. 医療技術の向上に努め、信頼され安心して快適な健診を提供する。
3. 受診者の人権と知る権利を尊重するとともに、プライバシーの保護に努める。
4. 地域住民の方々の健康管理と福祉に寄与することを目指す。

健康管理センターキャッチフレーズ 『健康な 今だからこそ 健康診断』

回 地域医療連携登録医懇



社会保険 群馬中央総合病院

〒371-0025

前橋市紅雲町1丁目7番地13号

TEL.027-221-8165 FAX.027-224-1415

診察、検査の予約は**地域連携・総合企画課**へ

TEL. 027-223-1373(直通)

FAX. 027-223-1374(直通)



診療科紹介 小児科 小児科医長 水野隆久 食物アレルギーに対する食物経口負荷試験

わが国の食物アレルギーの有病率調査では、乳児期は出生コホート調査で5-10%、幼児期が保育所調査で5.1%、学童期は平成16年の文部科学省調査で2.3-2.6%と報告されています。鶏卵、牛乳、小麦がわが国の3大原因食品であり、以下甲殻類、果物類、ソバ、魚類、ピーナッツの頻度が高いとされています。この中で、特に3大原因食品は自然に耐性を獲得する頻度が高く、はじめは除去を要しますが、加齢とともに摂取できる例が数多くみられます。

血液検査や皮膚テストなどのアレルギー検査は侵襲が低いという利点がありますが、正確性に欠き、確定診断のためには食物経口負荷試験が必須となります。原因アレルゲンの同定や耐性獲得の判断を行うため、当院では毎週水曜日に予約制で日帰り入院による食物経口負荷試験を行っています。

病歴やアレルギー検査の結果、年齢などより、負荷試験を実施する時期を決定します。方法は、極少量から摂取を開始し、15分毎に症状がないことを確認して漸増し、目標量までおよそ5回程度に分割して摂取します。問題なければ終了後2時間は院内で観察し、症状がなければ陰性と判定します。試験中にかゆみや咳嗽、腹痛などのアレルギー症状が誘発されれば陽性と判定し、負荷を中止してアレルギー症状に対する治療を行います。改善すれば同日退院となりますが、重症例に対しては1泊入院して治療の継続が必要となります。家庭で負荷を行う場合には、アレルギー症状が誘発されたときに治療を開始するまでの時間がかかり、症状がより重篤となる恐れがあります。また、一度に大量に負荷することが難しいため、陰性例でも制限を解除するまでの時間がかかるため、医療機関での負荷試験がすすめられています。

近年は、自然に耐性を獲得できない例に対して経口免疫療法が試みられています。これは、原因食品を摂取しつづけることで耐性獲得を目指す治療法です。急速法や緩徐法などがあり、有効例の報告も多くみられますが、まだ研究段階であり、確立された治療法ではありません。また、危険を伴うため、必ず医師の指示の下で行う必要があります。当院では、自然に耐性を獲得するのが難しい例に対して、外来での緩徐法も試みており、閾値を引き上げたり、制限解除に成功した例も経験しています。

図1 年齢別即時型食物アレルギーの患者数

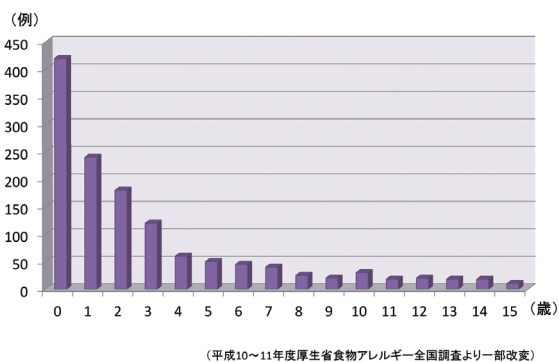


図2 即時型食物アレルギーの原因食品

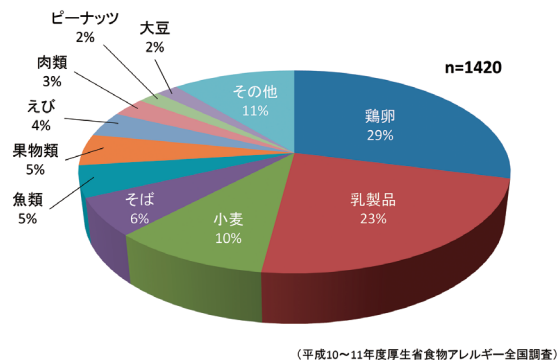


図3 即時型食物アレルギーの年齢群別原因食品

	0歳 (n=416)	1歳 (n=237)	2～3歳 (n=289)	4～6歳 (n=140)	7～19歳 (n=207)	>20歳 (n=131)
1位	鶏卵 47.4%	鶏卵 30.4%	鶏卵 30.8%	鶏卵 25.0%	そば 14.0%	魚介類 16.0%
2位	乳製品 30.8%	乳製品 27.8%	乳製品 24.2%	乳製品 24.3%	えび 13.0%	えび 14.5%
3位	小麦 9.6%	小麦 8.4%	小麦 12.1%	小麦 8.6%	小麦 10.6%	そば 12.2%
小計	87.8%	66.6%	67.1%	57.9%	37.6%	42.7%

(食物アレルギー診療ガイドライン2005)

図4 食物経口負荷試験の様子
(うどん負荷試験)



耳鼻咽喉科診療体制変更のお知らせ

耳鼻咽喉科医長 内山通宏

平素より地域の先生方には、多くの患者様をご紹介して頂きありがとうございます。

平成24年9月1日より耳鼻咽喉科常勤一名体制となり、それに伴い診療体制が変更になりましたのでご報告いたします。

当院耳鼻咽喉科はこれまで手術・入院加療・外来診療を行ってきましたが、今回の体制変更に伴い、手術は行わず入院加療・外来診療のみとさせていただきます。今後につきましては、気道確保等緊急手術を要する症例や予定手術症例は、近隣の対応可能な医療機関にお願いすることになりました。

現在、午前の外来診療は週2回（月曜日と木曜日）は群馬大学耳鼻咽喉科の先生方にお手伝い頂いており、残りの週3回（火曜日・水曜日・金曜日）は一人体制で診療しております。午後診療では、火曜日・金曜日は嚥下外来として主に嚥下評価を行っています。また、火曜日は竹越先生（竹越耳鼻咽喉科医院）、水曜日（不定期）には塚田先生（はるクリニック）にもお願いしています。尚、午後の診療は完全予約制で、木曜日は休診日となっています。

一人体制のため、中核病院耳鼻咽喉科としては地域のニーズに十分に答えることが難しいと思いますが、可能な限り貢献したいと考えております。

皆様と共に良い地域医療を目指して行きたいと思いますので、今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

感染対策室のご紹介 感染対策室長 安野朝子

感染対策の仕事は病院に来院される全ての患者様、ご家族やお見舞い等の方々、全ての職員が感染症を広げない、もらわないための対策を実践することです。

医療安全対策部感染対策室は、感染管理認定看護師（ICN）1名、室長1名の2名の専任看護師と感染対策チームで運営しています。感染対策チームは、専任の北原副院長



インфекション・コントロール・ドクター（ICD）、細菌検査室の感染制御認定臨床微生物検査技師（ICMT）、薬剤部の薬剤師との合計5人です。他に会議は医療安全対策部長の感染制御認定薬剤師（BCPIC）1名、病棟科長1名、病棟勤務の感染管理認定看護師（ICN）1名、施設課長補佐1名の合計9名で検討しています。

このように充実した体制を整えられたのは、長年にわたり地域の先生方に感染症の患者様をご紹介頂き、その診療を担わせていただいていたからだと思います。季節の流行性疾患から、届出の必要な感染症まで様々ですが細菌検査室による正確な微生物検出と迅速な情報提供を心がけ、適切な診療と感染対策が実施できるようチーム一丸となって努力しております。

今年度より新たな感染対策加算が始まり、地域連携加算の加算1同士の相互訪問は県の感染症連絡協議会の調整により、前橋赤十字病院が当院を訪問し、当院は済生会前橋病院を訪問する予定です。加算2の連携病院とのカンファレンスは皆様のご協力で表のように開催しています。

表．平成24年度感染対策地域連携カンファレンス開催概要

開催日	カンファレンス内容	参加病院
①4月17日	各病院自己紹介 当院の感染対策説明 次回からの検討事項 それぞれの病院の意見を話し合う	関越中央病院 日高病院 前橋城南病院 野口病院 老年病研究所附属病院 わかば病院 群馬中央総合病院
②6月21日	抗菌薬届出制の運用について	
地域連携学術講演会	聖路加国際病院内科部長古川恵一先生 「重症感染症における抗菌薬の適正使用」	
③10月16日	連携病院からのご要望で 手指衛生の取り組みと清拭タオルの管理	
④2月19日（予定）	職員の抗体価検査とICTラウンド	

加算の申請に関わらず、地域の先生方からの感染対策上のご相談はいつでも受け付けております。当院の感染対策チームでお役にたてることがあれば喜んでお答えします。ご活用ください。

新MRI装置の導入に伴う工事期間のMRIの対応

放射線統括技師長 岸 俊夫

当院では、来年1月にMR装置をSIEMENS社製 MAGETOM Skyra 3.0T（シーメンス社製 マグネトム スカイラ 3テスラ）に更新します。ドイツSIEMENS社の最新型最高機種で、県内一号機となります。それに伴いMR装置の入れ替え工事を11月17日から来年1月3日まで行います。その間MRの対応として、MR装置をトレーラーに積んだ車載MR装置をレンタルして稼働することとなりました。日立の最新のMR装置なので現在当院で撮影しているシーケンスは全て撮影可能と思われます。もちろんVSRADは検査可能であることを確認しています。ただ一日の撮影人数が現在の3/4程度になってしまうことが予想されますので、多少のご不便をかける事となりますが、一ヶ月半の期間でするのでご理解とご協力をお願い致します。新型MRI装置は来年1月4日から稼働しますので、色々な意味で期待をして頂きたいと思います。



第11回地域医療連携登録医懇親会のご報告

平成24年8月22日（水）19時より前橋市古市町のアニバーサリーコート ラシーネにて第11回地域医療連携登録医懇親会を開催いたしました。当日は、登録医の先生96名、院内医師及び看護師等職員38名、併せて134名のご出席をいただきました。当日は、前橋市医師会会長の挨拶、高崎医師会会長の乾杯のご発声を頂戴し、群馬交響楽団の生演奏を聞きながら



華々しくスタートいたしました。先生方と同じテーブルに座り、日々の感謝と親睦を深めることができました。また、直接先生方からご指摘やアドバイスをご教示いただくこともできました。短い時間でしたが盛大な会は前橋市医師会副会長の挨拶にて終わることができました。

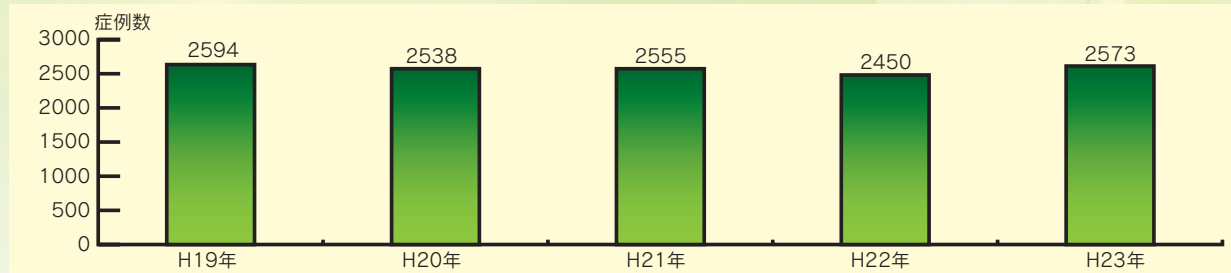
懇親会を終え、更なる病診病病連携の充実、地域医療に貢献する病院として改善させていただきます。この場を借りて、ご出席いただきました先生方へお礼申し上げます。

今回ご欠席された先生方も、次回懇親会へのご出席をお待ちしております。

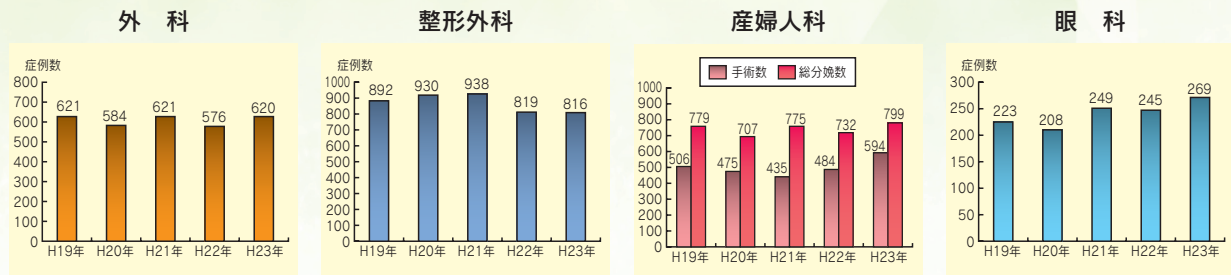
当院における手術症例数

I 平成19年以降の手術数の推移（平成19年～平成23年）

① 当院における総手術数の推移



② 各科における手術数の推移



II 平成23年の各科における主な疾患の手術症例数（平成23年1月～12月）

外科における手術症例数		整形外科における手術症例数		産婦人科における手術症例数		眼科における手術症例数	
食道疾患	14	膝の手術	407	子宮全摘術	86	白内障手術	279
胃悪性腫瘍	92	関節鏡、同鏡下手術	180	子宮悪性腫瘍手術	8	翼状片手術	6
結腸悪性腫瘍	57	靱帯再建術	40	子宮付属悪性腫瘍手術	2	眼瞼下垂症手術	3
直腸悪性腫瘍	35	人工関節置換術	147	子宮付属腫瘍手術	154	眼瞼内反症手術	4
肝・胆・膵悪性腫瘍	11	その他(骨折、関節形成等)	40	子宮筋腫核出術	37	その他	85
胆石症	52	足の手術	55	子宮頸部切除術	86		
腹腔鏡下手術	51	足関節形成、外反母趾等	36	帝王切開術	191		
開腹手術	1	足、足関節骨折	19	その他	49		
急性虫垂炎	48	脊椎手術	65				
ヘルニア	172	股関節手術	104	・総分娩数	799		
肛門疾患	98	(人工関節、大腿骨頭部骨折等)		自然分娩	585		
その他	41	一般骨折手術(上記以外)	27	帝王切開によるもの	214		
		内固定除去術	89				
		その他	69				

手術に関する施設基準について

なお、症例数は、平成23年1月～12月までの間に行ったものです。

●区分1に分類される手術

分類	手術名	実施手術数
肺悪性手術等	肺悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術、肺切除術胸腔鏡下體胸腔掻爬術、體胸腔有茎筋肉弁充填術など	2例

●区分2に分類される手術

分類	手術名	実施手術数
靱帯断裂形成手術等	靱帯断裂形成手術、関節鏡下靱帯断裂形成手術 脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	40例
肝切除術等	肝切除術、脾体尾部腫瘍切除術、脾頭部腫瘍切除術 肝門部胆管悪性腫瘍手術、副腎悪性腫瘍手術	11例
子宮付属器悪性腫瘍手術等	子宮付属器悪性腫瘍手術、卵管鏡下卵管形成術 女子外性器悪性腫瘍手術、子宮鏡下子宮内膜焼灼術	2例

●区分3に分類される手術

分類	手術名	実施手術数
内反足手術等	内反足手術	1例
食道切除再建術等	食道切除再建術、食道腫瘍摘出術、食道悪性腫瘍手術(切除) 食道切除後2次の再建術、食道裂孔ヘルニア手術	6例

●区分4に分類される手術

分類	手術名	実施手術数
胸腔鏡、腹腔鏡下手術	腹腔鏡下胃切除術、腹腔鏡下胆嚢摘出術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出(核出)術 など	98例

●その他の区分に分類される手術

手術名	実施手術数
人工関節置換術	165例
ペースメーカー移植術	13例
経皮的冠動脈形成術、経皮的冠動脈血栓切除術、経皮的冠動脈ステント留置術	26例